

【令和 6 年度の新たな取り組み】**発達障害支援センター体制構築（ゼロ予算）**

（目的）

発達障害のこども及びその家族に対し切れ目のない支援を行うため、関係機関との連携を強化する。

（取組内容）

令和 6 年度から設置の「こども支援部会」でこども支援に関する様々な課題について協議する。

こども支援部会にワーキングチームを設置し、関係機関（こども支援部会・発達障害等相談センター・児童発達支援センター、医療機関など）と連携し、課題の共有・整理や解決策の検討を行う。

うべあんしんおでかけマップ作成（予算 2,000 千円）

（目的）

障害のある人など誰もが安心して外出できるよう、バリアフリー情報をまとめたマップを作成する。

（取組内容）

障害当事者や関係団体等から外出時に必要な情報について意見を聴取し、関係部署と連携しながら障害者等が利用しやすいマップを作成する。

山口宇部ふれあい公園インクルーシブ大型遊具活用（予算 2,400 千円）

（目的）

インクルーシブ大型遊具及びその周辺で、障害のあるなしに関わらず一緒に遊び、学ぶ機会をつくることにより、障害に関する理解とこどもの成長を促進する。

（取組内容）

山口宇部ふれあい公園インクルーシブ大型遊具及びその周辺で、イベントを年 3 回以上開催する。

参加者に対して、子どもの外遊びに関するアンケート調査等を実施し、「今後のイベントのあり方」や「地域共生のまちづくり」、「障害に関する理解促進」などの視点から分析する。